

議案第1号 令和4年度 事業報告について

事業報告

1 事業概要

令和4年度の草津市シルバー人材センターの事業概要は、次のとおり

会員数	695人	前年度比	2.5%増
契約金額	242,573,135円	前年度比	0.5%減
（うち派遣事業）	58,547,239円	前年度比	0.2%減
就労延人員	56,997人日	前年度比	3.4%減
（うち派遣事業）	12,985人日	前年度比	1.7%減

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大してから3年以上が経過した。当初は、我が国をはじめ全世界が経済的に大きな打撃を受けたが、ワクチン接種が進展し、世界的に景気が同時に持ち直しつつある。しかし、このために需給がひっ迫し、さらにロシアのウクライナ侵略が原材料価格の高騰に拍車をかけ、我が国は約30年ぶりのインフレに悩まされている。

我が国の経済は、ウィズコロナの考え方の下、経済社会活動の正常化が進む中で緩やかな持ち直しが続いているが、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や諸外国の金融政策の影響による景気後退懸念など、様々な下振れリスクがあり、むしろ厳しさは増しているとも言える。

こうした中、当センターでは、全国的に会員数が微減となる中、2.5%もの会員増を達成したことは、誇るべき成果であり、様々な会員獲得活動が実を結んだものと考えている。

契約金額については前年度より減少したが、やむを得ない理由により大きな契約が途切れたにもかかわらず、微減で踏みとどまった。

このように、令和4年度は、契約金額は全体として減少したが、特に、会員獲得に大きな成果をみた年度であった。

2 事業詳細

(1) 会員の拡充の推進

役職員と会員が主体となって、会員拡大委員会の活動を中心に会員の拡充に積極的に取り組んだ。

① 会員の就業については、会員就業規則に従い適正かつ公平な就業機会の提供に努めるとともに、可能な限りグループ就業やローテーション就業の推進を図った。

② 入会説明会については、南草津駅前の「草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津5階）」及び当シルバー会議室において毎月2回開催し、併せて参加者アンケートを実施、入会率アップを図った。また、女性限定の説明会について、商業施設（アルプラザ草津店）にて「会員募集」啓発ポケ

ットティッシュ300個を配付するなど周知を図ったうえで、草津駅前のキラリエ草津で実施し、15人の参加を得た。

- ③ 説明会の周知については、新聞折込による「入会説明会案内チラシ」を8月に3万3,600枚、令和5年3月に3万1,900枚、また、湖南フリーモ情報誌併配による「入会説明会案内チラシ」を12月に4万4,150枚、それぞれ配布した。
- ④ 市役所1階の市民課待合モニターに、12月から会員拡大と就業開拓を目的とした映像を流し、一般市民や企業に呼び掛けた。
こうした取組みの結果、会員総数は、695人となり、前年度(678人)より17人と大きく増えた。

(2) 就業の開拓と拡大の推進

役職員と会員が主体となって、就業開拓委員会の活動を中心に就業の開拓と拡大に積極的に取り組んだ。

- ① チラシ等の作成にあたっては、近年、会員のニーズが高いパソコン入力や受付などの事務系業務や封入やラベル貼りなどの内職業務等が発注者の目に付くよう工夫を凝らした。
- ② 商工会議所の会報誌等を活用して、約2,600社にチラシを配付した。また、ハローワークに求人中の事業所約35社にチラシを送付し、新規発注の開拓に努めた。
- ③ 市役所1階の市民課待合モニターに、12月から就業開拓と会員拡大を目的とした映像を流し、一般市民や企業に呼び掛けた。(再掲)
- ④ 市の次年度予算見積時期に合わせて、担当課を通じて市役所内電子掲示板にシルバー人材センターの活用についての記事を掲載し、公共の利用を促した。

こうした取組みの結果、コロナ禍やインフレ等の社会状況の中でも、契約金額は微減に留まった。

(3) 安全就業の推進

安全就業適正委員会の活動の中核に据え、「安全は全てに優先する」ことを基本として「事故ゼロ」を目指し、安全活動を継続推進した。

- ① 就業現場への「安全パトロール」を3回(9箇所)実施し、就業状況を確認するとともに現場に応じたチェックリストの改善を行った。
- ② 定時総会に併せて、労働基準監督署から講師を招いて安全大会を開催し、安全への心構えや高所作業の注意等を学んだ。
- ③ 安全就業適正委員会会報「お元気ですか」を3回(5月・10月・1月、各月約700部)発行し、安全意識の周知・徹底を図った。
- ④ 全国的に事故が多発している職域への重点取り組みとして、植木剪定講習会(26人受講)や機械刈除草(10人出席)の安全就業研修を行い、

技術と安全意識の向上に努めた。

- ⑤ 「交通安全教室」(19人受講)を開催し、10地域班の班会議においては、安全就業への心構えを重ねて示し、健康維持と安全対策の再確認と実践を呼び掛けた。

(4) 運営基盤の確立

理事会、事業運営委員会が中心になりセンター全般の諸行事の企画や、他の委員会と連携し組織体制の確立と事業の円滑な推進に取り組んだ。

- ① 独自事業提案募集制度を整備し、10月1日から募集を開始、その周知を行った。
- ② 12月から請負代金のコンビニ支払の取り扱いを開始し、発注者の利便性向上とICT(情報通信技術)を利用した収納事務プロセスの改善を実現した。
- ③ 事務費比率の経過措置の改善を行い、より安定した経営基盤の確立と健全経営の推進に取り組み、草津市単独補助金に頼ることなく運営することができた。
- ④ 12月9日に介護予防と食事についての研修(16人受講)、同月21日に草津市未来ノート(エンディングノート)研修(12人受講)を行い、会員の健康で充実した生活の実現に寄与した。

3 数値目標の達成状況

	従前値 ^{※1}	目標値	実績値	達成率	
(1) 会員数	678 人	685 人	695 人	101.5	
(2) 会員の満足度 ^{※2}	71%	73%	62%	84.9	
(3) 契約額	受託事業	185,219 千円	189,400 千円	184,026 千円	97.2
	派遣事業	58,642 千円	67,500 千円	58,547 千円	86.7
計	243,861 千円	256,900 千円	242,573 千円	94.4	
(4) 未就業会員数 ^{※3}	62 人(9.8%)	51 人(8%)	66 人(10.1%)	70.6	
(5) 事故発生件数	6 件	0 件	9 件	-	

※1 令和3年度末の数値

※2 加入してよかったと思う会員の割合

※3 目標値:プラチナ除く会員数の8%、達成率:(1-(実績値-目標値)/目標値)×100